

財政公表

問合先
財政課 ☎51・2117

豊橋市告示第305号

豊橋市財政状況の公表に関する
条例第2条の規定に基づき、平成
16年4月1日から9月30日までの
財政状況を公表します。

平成16年12月15日
豊橋市長 早川 勝

本市では「環境にやさしく暮らす」「いきいきと生活を楽しむ」「魅力と活力あふれる」の3つのまちづくりを積極的に進めています。平成15年度は「防災対策」「子どもと高齢者への施策」「環境対策」「地域経済活性化と雇用の確保」を重点施策として、市民の皆さんが笑顔で元気に暮らせるまちづくりを推進しました。

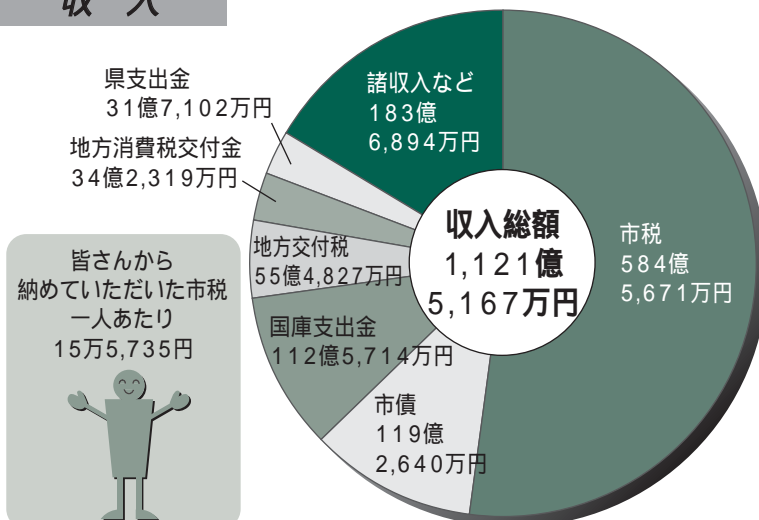
今回は、平成15年度の決算と16年度上半期の予算の執行状況をグラフなどを交えながらお知らせします。

平成15年度決算

一般会計の決算

一般会計は55億947万円の黒字でした

収入



平成16年3月31日現在の人口375,360人で算出

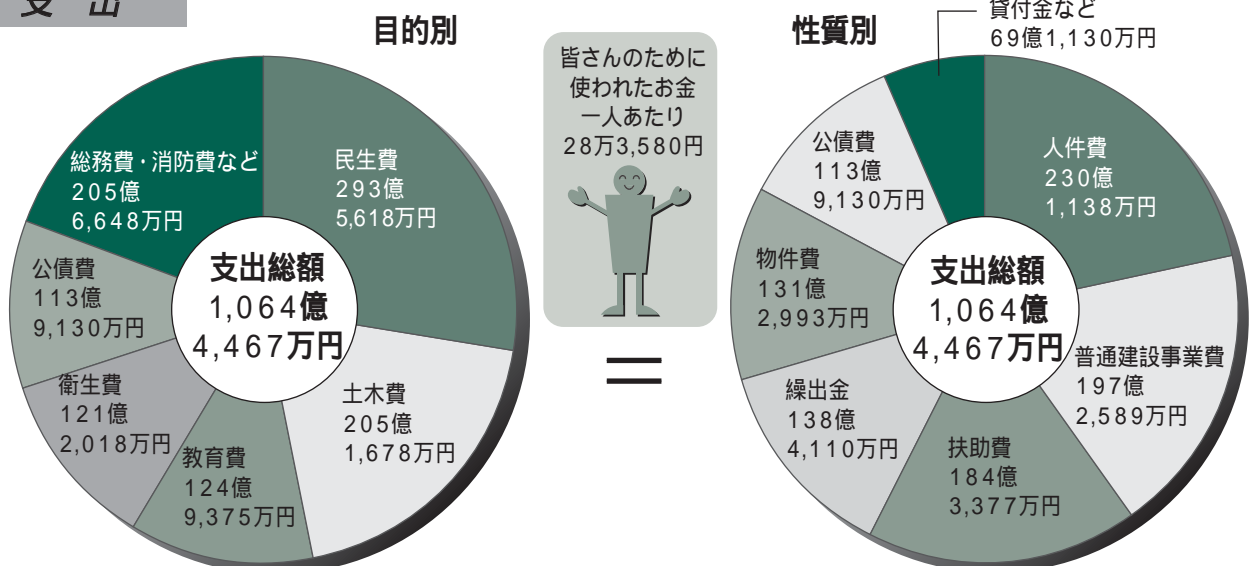
収入から支出を差し引き、さらに平成16年度へ繰り越す事業にあてる費用1億9,753万円を差し引くと、実質的には55億947万円の黒字となりました。

収入では、景気回復の遅れなどにより市税が減ったものの、総合スポーツ公園プール棟整備などに伴う国庫支出金の増などにより、一般会計収入全体では前年度と比較して3.8%の増となりました。

支出では、目的別で民生費が総合福祉センター(あいつピア)建設事業などにより10.3%の増となったほか、教育費では総合スポーツ公園プール棟整備などにより2.8%の増となるなど、一般会計全体で2.8%の増となりました。

また、性質別では投資的経費といわれる普通建設事業費(道路や河川、学校などの公共施設整備に要する経費)が、全体の18.5%を占めています。

支出

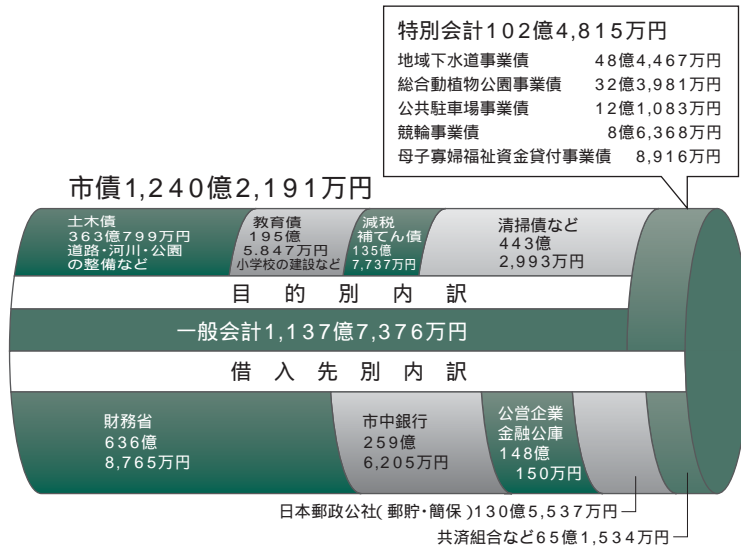


市債の状況

市債は、市民生活の基盤である道路や公園、学校など長期間にわたって市民の皆さんに利用していただく公共施設を整備するときに、国などから借りるお金です。

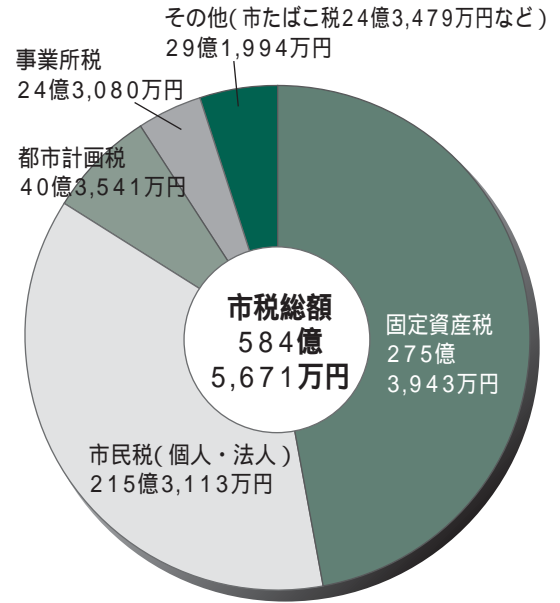
平成15年度一般会計の借入額は総合福祉センター(あいトピア)建設事業、総合スポーツ公園プール棟建設事業の実施および地方交付税の振替措置である臨時財政対策債の借入れの増などにより、前年度と比較して31.4%の増となりました。

平成15年度末の市債現在高は、下のグラフのとおりです。



市税の決算

市税は法人市民税が増加したものの、個人市民税および固定資産税が減少したため、前年度と比較すると0.9%の減となりました。



都市計画税は、道路、下水道、公園整備などの都市計画事業に要する費用にあてるための目的税です。事業所税は、都市環境施設の整備および改善に要する費用にあてるための目的税です。

特別会計の決算



競輪事業

収入 108億4,895万円
支出 105億8,031万円
差引 2億6,864万円



地域下水道事業

収入 15億911万円
支出 15億911万円
差引 0万円



土地区画整理換地清算費

収入 1,269万円
支出 1,269万円
差引 0万円



国民健康保険事業

収入 262億8,515万円
支出 260億7,165万円
差引 2億1,350万円



老人保健

収入 257億7,096万円
支出 258億5,899万円
差引 8,803万円

収支不足は平成16年度から繰上充用しました



総合動植物公園事業

収入 14億2,703万円
支出 14億2,703万円
差引 0万円



母子寡婦福祉資金貸付事業

収入 3,581万円
支出 2,408万円
差引 1,173万円



公共駐車場事業

収入 3億5,261万円
支出 3億2,265万円
差引 2,996万円



介護保険

収入 112億4,643万円
支出 112億9,358万円
差引 4,715万円

収支不足は平成16年度から繰上充用しました

特別会計総合計

収入 774億8,874万円
支出 771億9万円
差引 3億8,865万円

【解説】

総合動植物公園事業、地域下水道事業は収支不足額を一般会計から繰り入れたため収入支出同額となっています。

土地区画整理換地清算費は収入超過額を一般会計へ繰り出したため収入支出同額となっています。

企業会計の決算

水道事業

平成15年度末で普及率は99.2%、総配水量は4,406万5,680㎥となりました。これは、使用者一人あたり1日平均323ℓの水を使ったこととなります。

収支は消費税抜きで1億8,953万円の赤字となりました。

平成15年度貸借対照表（平16.3.31） 消費税抜き

資産の部		負債・資本の部	
固定資産	369億1,477万4,459円	負債	12億3,817万5,970円
流動資産	47億2,567万291円	資本	404億226万8,780円
計	416億4,044万4,750円	計	416億4,044万4,750円

平成15年度損益計算書（平15.4.1～平16.3.31） 消費税抜き

営業収益		営業費用	
営業収益	58億5,819万3,385円	営業費用	56億4,743万3,851円
営業外収益	1,561万9,907円	営業外費用	5億70万7,728円
特別利益	8,479万3,750円		
計	59億5,860万7,042円	計	61億4,814万1,579円
当年度純損失		1億8,953万4,537円	



南都2号配水池

消費税抜き	
水1㎥あたりの平均販売単価	134.04円
水1㎥をつくる費用	142.71円

消費税込み		
区分	決算額	
収益的	収入	62億4,898万円
	支出	63億6,884万円
資本的	収入	11億5,776万円
	支出	26億8,832万円
	補てん財源	15億3,056万円

下水道事業

平成15年度末で普及率は昨年度を0.1ポイント下回る69.4%となり、家庭などから出る汚水や雨水を5,301万3,097㎥処理しました。

収支は消費税抜きで4,911万円の黒字となりました。

平成15年度貸借対照表（平16.3.31） 消費税抜き

資産の部		負債・資本の部	
固定資産	1,318億1,915万3,776円	負債	15億5,765万114円
流動資産	23億5,576万1,779円	資本	1,326億1,726万5,441円
計	1,341億7,491万5,555円	計	1,341億7,491万5,555円

平成15年度損益計算書（平15.4.1～平16.3.31） 消費税抜き

営業収益		営業費用	
営業収益	52億5,864万4,659円	営業費用	44億2,179万1,489円
営業外収益	15億6,265万4,896円	営業外費用	23億5,039万9,439円
計	68億2,129万9,555円	計	67億7,219万928円
当年度純利益		4,910万8,627円	



地下ポンプ場の建設工事

消費税抜き	
1㎥あたりの下水道使用料	136.27円
1㎥あたりの汚水処理費用	134.48円

消費税込み		
区分	決算額	
収益的	収入	70億1,073万円
	支出	68億8,732万円
資本的	収入	45億4,131万円
	支出	68億3,408万円
	補てん財源	22億9,277万円

1 一般会計からの補助金22.03円を控除

病院事業

平成15年度の患者数は、入院延べ30万797人（1日平均822人）、外来延べ58万6,260人（1日平均2,383人）で、合わせて88万7,057人が市民病院を利用しました。

収支は消費税抜きで6億3,169万円の赤字となりました。

平成15年度貸借対照表（平16.3.31） 消費税抜き

資産の部		負債・資本の部	
固定資産	341億1,331万7,733円	負債	29億2,458万8,756円
流動資産	36億2,216万6,885円	資本	356億1,417万5,077円
繰延勘定	8億327万9,215円		
計	385億3,876万3,833円	計	385億3,876万3,833円

平成15年度損益計算書（平15.4.1～平16.3.31） 消費税抜き

医業収益		医業費用	
医業収益	181億4,811万8,313円	医業費用	192億1,148万9,344円
医業外収益	16億2,581万2,966円	医業外費用	11億9,412万9,777円
計	197億7,393万1,279円	計	204億561万9,121円
当年度純損失		6億3,168万7,842円	



ガンの発見などに用いるデジタルガンマカメラ

消費税込み		
区分	決算額	
収益的	収入	198億1,615万円
	支出	204億4,716万円
資本的	収入	7億1,808万円
	支出	17億6,161万円
	補てん財源	10億4,353万円

平成15年度の主な事業
 一般会計
 完成しました
 総合福祉センター（あいトピア）
 建設事業
 斎場改修事業
 池上住宅建替工事（第2期）
 二川駅南口自転車等駐車場整備事業
 城下老人憩の家建設事業
 充実しました

木造住宅耐震改修費補助金
 新総合通信ネットワーク（衛星系）の整備
 最新規制適合車等早期代替促進事業補助金
 乳幼児入院医療助成対象者の拡大（4歳未満児から6歳未満児へ）
 障害のある児童生徒のいる学級への対応として非常勤講師などを配置

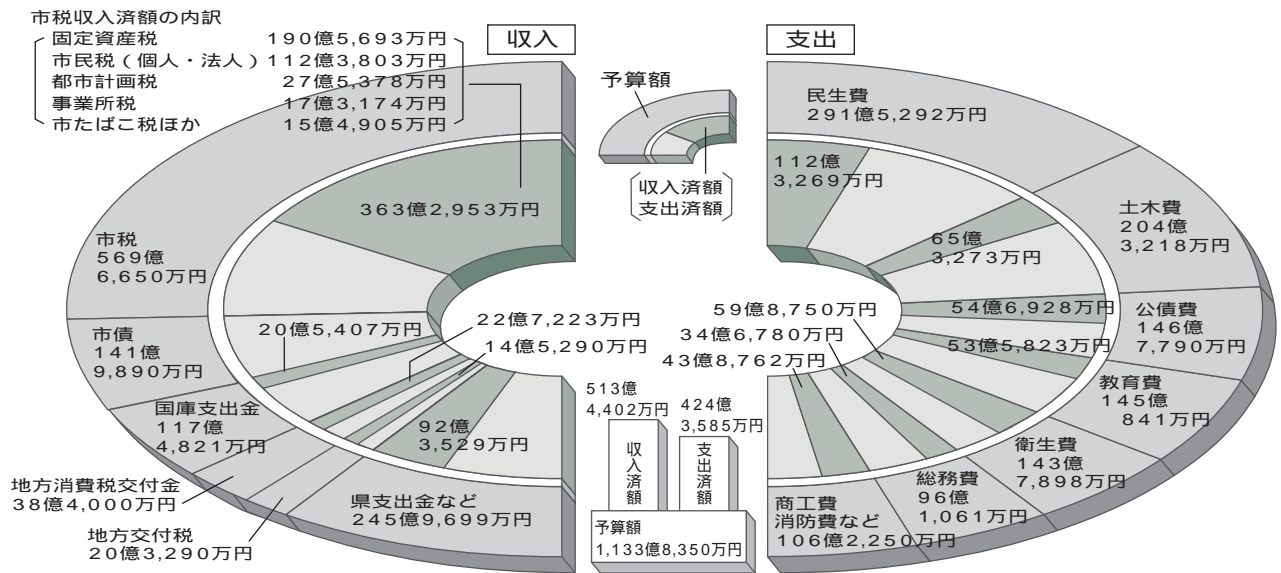
水道事業
 南部配水場配水池築造工事
 配水管網の整備拡充
 下水道事業
 梅田第1汚水幹線、大岩・二川地区の実施設設計
 中島処理場分流通理施設および地下ポンプ場の建設工事
 水洗化向上モデル地区（高師南地区）への重点的な普及宣伝活動

病院事業
 デジタルガンマカメラなどの更新
 児童外来の開設

平成16年度上半期の状況

一般会計の収入・支出

予算額1,133億8,350万円に対する収入済額は513億4,402万円(収入率45.3%)、支出済額は424億3,585万円(執行率37.4%)となっています。また、皆さんに納めていただいた市税の収入済額は、363億2,953万円(市税予算額569億6,650万円に対して収入率63.8%)となっています。数字は、すべて平成16年9月30日現在のものです



企業会計の収入・支出

水道事業

平成16年度上半期に使われた水の量は2,253万4,350^mで、昨年より約29万^m上回り、1日の最大配水量は13万8,551^mとなりました。

下水道事業

上半期に処理した水量は2,777万9,302^mとなりました。

病院事業

上半期の患者数は、入院延べ14万9,318人、外来延べ30万732人で、合わせて45万50人が利用しました。

事業名	区分	予算額	収入済額	支出済額
水道事業	収益的	収入 61億3,800万円	30億7,538万6,530円	—
	収益的	支出 64億1,400万円	—	22億5,793万4,791円
	資本的	収入 10億4,200万円	3億8,054万9,950円	—
	資本的	支出 26億5,900万円	—	4億5,435万860円
	補てん財源	16億1,700万円	—	—
下水道事業	収益的	収入 70億2,900万円	35億3,705万7,556円	—
	収益的	支出 69億2,900万円	—	20億6,480万8,107円
	資本的	収入 51億4,925万円	13億2,750万6,160円	—
	資本的	支出 73億7,100万円	—	18億9,051万8,958円
	補てん財源	22億2,175万円	—	—
病院事業	収益的	収入 201億5,100万円	99億1,534万7,831円	—
	収益的	支出 212億5,100万円	—	93億7,815万2,265円
	資本的	収入 8億912万8,000円	3億7,710万円	—
	資本的	支出 18億5,800万円	—	11億906万4,992円
	補てん財源	10億4,887万2,000円	—	—

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、消費税込み損益勘定留保資金などで補てんします

特別会計の収入・支出

総予算額775億2,414万円に対して収入済額は304億6,287万円(収入率39.3%)、支出済額は348億2,020万円(執行率44.9%)となっています。

事業名	予算額	収入済額	
		収入済額	支出済額
競輪事業	105億150万円	68億4,407万円	61億4,683万円
		84億930万円	114億8,202万円
国民健康保険事業	261億3,100万円	1億5,840万円	6億3,002万円
総合動植物公園事業	18億2,400万円	1億5,972万円	1億5,277万円
公共駐車場事業	3億8,700万円	1億3,153万円	3億6,525万円
地域下水道事業	17億4,046万円	104億8,412万円	109億8,363万円
老人保健	247億9,903万円	2,186万円	1,063万円
母子寡婦福祉資金貸付事業	3,000万円	42億4,879万円	50億4,904万円
介護保険	121億15万円	508万円	1万円
土地区画整理換地清算費	1,100万円	—	—
総合計	775億2,414万円	304億6,287万円	348億2,020万円

市有財産の状況(平成16年9月30日現在)

土地 7,416,370^m²
 建物 1,136,673^m²



有価証券(株券) 22億3,023万円
 債権(貸付金など) 27億116万円



出資金 16億6,054万円



基金 190億9,373万円
 (財政調整基金、大規模事業推進基金など)

